

みんなの広場



歌の歌詞を手話で表現する伊万里手話の会のステージ発表



美しい音色が響いていた琴の体験



車椅子体験

第13回ボランティアまつり～ふれあい広場～ ボランティア活動の輪を広げて

市民会館でボランティアまつりがありました。これは、市民との交流を通じてボランティア活動を推進するため、市ボランティア連絡協議会と市社会福祉協議会が毎年開催しているものです。市内のボランティア団体などにより、ステージ発表や体験コーナーなど多彩な催しが行われ、雨模様にも関わらず多くの来場者でにぎわっていました。



日用品や手芸品などが多数販売され大盛況のふれあいバザー

いまりん café

みんなで語ろう『これからの伊万里』

まちへの思いやまちづくりのアイデアなどを市民が自由に語るワールド・カフェ方式のワークショップ『いまりん café』がありました。これは、市が策定する第6次市総合計画に市民の意見を反映するため、市民との協働によるまちづくりを進める機会として全3回開催したものです。参加者は思い思いにこれからの伊万里について語り合いました。



↑面白いアイデアが次々と出されていました(写真は第3回)

市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会

地域からボトムアップのまちづくり

伊万里公民館と山代公民館で、市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会がありました。伊万里公民館では松島搦地区への道の駅設置や大型商業施設の誘致、子どもの遊び場の整備など、山代公民館(9月27日)では浦之崎地区廃棄物処理用地の産業用地への変更や、山代公民館の移転整備などについて、活発な意見交換がありました。



↑子どもが遊びの中で心と体を育てていく施設が必要だと意見を述べる参加者(伊万里公民館)

愛宕権現神社秋祭り『府招の浮立』

多彩な演目が魅力の伝承芸能

南波多町府招の愛宕権現神社で秋祭りがあり、県重要無形民俗文化財に指定されている『府招の浮立』が奉納されました。輝く稲穂の中の道を、彩り豊かな衣装の行列が神社へと向かう『道行』に始まり、境内では、子どもから大人まで稽古を重ねてきた太鼓や舞など15演目の『本浮立』が披露され、多彩な演出で観客を魅了しました。



10.8

稲穂の中の道を神社へ進む『道行』の行列



↑ かわいい子どもたちが演じる『猿まわし』

↑ ユーモラスな動きの『恵比寿大黒』

拉致問題啓発舞台劇公演

全ての拉致被害者の帰国を目指して

拉致問題への理解と認識を深めてもらおうと、政府・県・市の主催で拉致問題啓発舞台劇『めぐみへの誓い—奪還—』がありました。劇は13歳で北朝鮮に拉致され、幸せな生活が一変した横田めぐみさんの半生を描いた作品。冒頭のあいさつでは、拉致被害者の増元のみ子さんの姉である平野フミ子さんが涙ながらに問題の早期解決を訴えました。



10.5

横田めぐみさんが拉致され北朝鮮へ向かう船の中での場面



↑ めぐみさんが帰国し両親と手を取り合う日がくることを表現した場面

↑ 「皆さん力を貸して」と訴える平野さん

交通安全（事故ナシ・飲酒運転ナシ）キャンペーン

交通事故・飲酒運転の撲滅に向けて

二里町大里の国道202号で、交通安全街頭キャンペーンがありました。塚部芳和市長や川久保正文伊万里警察署長のほか、市交通対策協議会、市交通安全指導員会などから35人が参加。伊万里梨や交通安全マスコット人形（市老人クラブ連合会 寄贈）などを入れた袋を道行くドライバーに配布しながら、安全運転を呼びかけました。



9.21

↑ 「事故ナシ・飲酒運転ナシ」と呼びかけながら手渡し

鍋島藩窯秋祭り『献上の儀』

国宝松江城に『鍋島』を献上

伊万里鍋島焼協同組合による恒例の『献上の儀』が島根県松江市の『松江歴史館』で行われ、平成27年に国宝に指定された松江城に『色絵青海波雪輪花文瓶子』が献上されました。松江市の市花・市木である椿、牡丹、桜、松と、日本海を表した青海波の5つの図柄を組み合わせ描いた作品で、この5つはいずれも『鍋島』の伝統図柄です。



10.3

↑ 松江城主に見立てた松浦正敬松江市長（右から4人目）に瓶子を献上した伊万里鍋島焼協同組合の代表ら関係者